

令和7年度第3回船橋市生涯学習基本構想・推進計画検討委員会 次第

日 時 令和8年3月23日（月）
午後3時00分～

場 所 船橋市役所 6階 602会議室

1 ふなばし一番星プランの構成案について（公開）

2 その他

3 次回会議予定

令和8年8月頃予定



船橋市
FUNABASHI CITY

資料 1

(令和7年度第3回 船橋市生涯学習基本構想・推進計画検討委員会)

第三次船橋市生涯学習基本構想・推進計画 (ふなばし一番星プラン) の構成案について

令和8年3月23日

教育委員会 生涯学習部 社会教育課



基本構想

【基本理念】生涯をとおして自分らしく学び続け、学びの成果を活かすことができる社会の実現を目指します。

【スローガン】輝け！「船橋のみんながもっている 一番星」

【目標Ⅰ】継続して何かを学んだり、活動したりしている人の割合の向上（現状値：49.2%→目標値：60.0%）

【目標Ⅱ】学びの成果を自分以外のために活かす人の割合の向上（現状値：12.7%→目標値：23.0%）

【基本姿勢】多様な主体との連携・協働

「基本構想」以外の
構成案を検討
していきます

推進計画

【基本施策Ⅰ】

多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供

- ・ 施策1：多様な学習ニーズへの対応
- ・ 施策2：充実した学習機会の提供
- ・ 施策3：充実した学習のための環境の整備

【基本施策Ⅱ】

「学習と活動の循環」の促進

- ・ 施策1：地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援
- ・ 施策2：「つながり」を育む学習・活動の推進
- ・ 施策3：学びの成果を活用するための環境の整備

リーディングプロジェクト

1

人生100年
時代への対応

2

デジタル化
社会への対応

3

「共生社会」
実現のための
取組の充実

4

学びを広げる
情報の充実

5

地域の拠点
「公民館」
の充実

前回の会議概要

～ 令和7年度第2回会議（前回）の発言内容や共有された課題等 ～

前回の会議では、「生涯学習に関するアンケート調査」の単純集計結果に対して、委員の皆様からご意見をいただきました。

会議概要①

※生成AIを使用して、発言内容や共有された課題等を要約

No,	項目	概要
1	生涯学習の認知・浸透に関すること	<ul style="list-style-type: none">「生涯学習」という言葉・内容が市民に十分浸透していない（「聞いたことがない」が16.3%、「内容はよく知らない」が53.5%）若い人たちは、生涯学習とは意識せずに、何かを学んだり継続してやっているようなことがある参加者側が「生涯学習」という言葉を認知する必要があるか
2	学習参加率に関すること	<ul style="list-style-type: none">「継続して何かを学んでいる」割合が目標値60%に対して未達（「している」が46.0%、「していない」が51.9%）市の主催講座に参加しない理由として「時間の余裕がない」「内容が希望に合わない」「一人では参加しづらい」が上位

会議概要②

※生成AIを使用して、発言内容や共有された課題等を要約

No,	項目	概要
3	デジタル・情報格差に関すること	<ul style="list-style-type: none">オンライン学習・自宅学習ニーズが増加している一方、デジタルを活用できる人とできない人の格差が生まれる懸念があるHPだけでは見てほしい相手に見てもらえないことがある対面だけでなく、デジタル公民館があってもいいネットを通した中での学び方が変わってきており、学習スタイルも変わってきている新しい学びの形態に対して、生涯学習としてどのような対応をしているかオンラインならではの生涯学習の充実を戦略的に進められるとよい（ライブ、オンデマンド）インターネットに関する意欲向上を攻めたほうがよいのでは
4	経済的困窮層への対応に関すること	<ul style="list-style-type: none">「経済的に苦しい」と感じる市民が約33%（3人に1人）経済的に苦しい層ほど生涯学習に参加していない経済的に苦しい層にどのような学習のツールや機会を提供するかが大事になる

会議概要②

※生成AIを使用して、発言内容や共有された課題等を要約

No,	項目	概要
5	現役世代(20～50代)へのアプローチに関すること	<ul style="list-style-type: none"> 20～50代の現役世代は学習ニーズが高いが、市主催講座を「知らなかった」という回答が多い 20～50代の現役世代に対するメッセージをどう出していくかが大事 好む学習時間帯が高齢者は午前中、現役世代は夜21時からが多く、ユーザーが多様化している 参加しやすく、楽しいと思えるつながりが必要
6	地域コミュニティ・孤立に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 孤立化という問題が地域社会の中で深まってきているのではないか 生涯学習が困ったことの解決に寄与できるということを出していく いいとわかっていても集まれない、出来ないことなどたくさんある。今後必要なこと、やらなければいけないこと、来ていただくこと、参加していただくことが大事なことになる 外国人住民との共生に関する不安・ニーズが6年前より約1.5倍に増加 外国人との共存が大事。触れ合いを避けるのではなく親和性を持っていくところにシフトしていく必要がある

会議概要②

※生成AIを使用して、発言内容や共有された課題等を要約

No,	項目	概要
7	公民館・施設運営に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等の生涯学習事業・施策を「利用・参加したことがない」が66.8%と高止まり 生涯学習環境への満足度が低く、「どちらともいえない」が73.3% オンラインやSNSを活用したプッシュ通知型の発信もメリットがある 学ぶ環境がもう少し改善されることで、学習する人の割合も増えるのではないかと。何かシステムを改善することで解決につながる糸口になるのでは
8	計画策定に関すること	<ul style="list-style-type: none"> 現行推進計画の目標値の達成に向けた施策の再検討が必要 リーディングプロジェクトの取り扱いの方向性が未定 人口推移・施設利用者数・社会教育関係団体数の減少傾向等を踏まえた計画の更新が必要 新しい時代の悩み事・困り事の洗い直し、解決が社会教育の原点

アンケート調査報告書について

～ 生涯学習に関するアンケート調査報告書から見えてくる課題 ～

「生涯学習に関するアンケート調査」の結果報告書が完成しました。

報告書概要①

※生成AIを使用して、報告書からみえてくる課題等を要約

No,	項目	概要
1	学習参加率の低迷と二極化	<ul style="list-style-type: none"> 現在の学習・活動状況が「していない」が51.9%と半数を超えている 経済状況が「大変苦しい」層の学習参加率は31.1%、「大変ゆとりがある」層（72.5%）との間に約40ポイントの格差が生じている 健康状態が悪い層も参加率が低い（よくない計：36.0%） 経済状況が「苦しい」、健康状態が「よくない」人の方が学習や活動をしていない割合が高い
2	現役世代(20～50代)の参加障壁	<ul style="list-style-type: none"> 「自由な時間が不十分」と感じる割合が男女共に高い（男性30～39歳：45.2%、女性30～39歳：57.8%） 学習しない理由として「仕事が忙しくて時間がない（男性30～39歳：56.7%、女性40～49歳：49.3%）」「家事・育児・介護が忙しい（女性30～39歳：72.9%）」が上位 希望する学習時間帯が「21:00～」が多く、現行の昼間中心の事業提供と需要のミスマッチが生じている
3	若年層の生涯学習への低い関心・認知	<ul style="list-style-type: none"> 「生涯学習」という言葉を聞いたことがない割合が、男性18～19歳（42.9%）、女性18～19歳（47.4%）と約半数に達している 市主催の講演会等を「知らなかった」が20代では男性84.4%、女性78.6%と極めて高い 若年層の生涯学習への関心が低く、情報も届いていない状況

報告書概要②

※生成AIを使用して、報告書からみえてくる課題等を要約

No,	項目	概要
4	市の事業・施策の認知度・利用率の低さ	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の講演会・学習会を「知らなかった」が全体の53.0%と過半数 市の生涯学習事業・施策を「利用・参加したことがない」が66.8% 公民館のサークル活動を「知らない」が37.2% 船橋市の生涯学習環境への満足度で「どちらともいえない」が73.3%と圧倒的多数を占めている 市民にとって関心のある事業・施策が不足している可能性あり
5	情報発信・広報の届き方の問題	<ul style="list-style-type: none"> 「知っていたが参加しなかった」理由に「自分の希望に合った内容ではない（29.2%）」「一人では参加しづらい（24.6%）」が挙がっており、情報の質・届け方に課題がある 便利だと思いう生涯学習の情報を得る方法では、若年層はSNSやインターネットの割合が高い一方、高齢者は広報ふなばしの割合が高く、世代によって情報取得手段が大きく異なり、一元的な広報では届かない
6	学びの成果を活かしていない	<ul style="list-style-type: none"> 「学びの成果を自分以外のために活かしている」のはわずか11.1% 活かしていない最大の理由が「活かすことのできるまでの段階に達していない（64.9%）」次いで「どのような活動に活かせるかわからない（20.5%）」「活かせる場所が見つけれられない（26.9%）」 学習と社会参加をつなぐ中間的な支援、マッチング機能の欠如が課題

報告書概要③

※生成AIを使用して、報告書からみえてくる課題等を要約

No,	項目	概要
7	地域間格差の存在	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の講演会等への「知っていた（計）」の割合が、「八木が谷（63.4%）」と「高根・金杉（34.8%）」で約30ポイントの差 学習活動をしている割合も「坪井（64.3%）」と「高根台（32.0%）」「三山・田喜野井（32.3%）」で倍近い差があり、地域によって生涯学習環境の充実度に大きなばらつきがある
8	居住年数が浅い層・転入者へのアプローチ不足	<ul style="list-style-type: none"> 居住5年未満の層では、市の講演会等を「知っていた（計）」が26.5%にとどまり、20年以上居住者（57.5%）と大きな差がある 公民館サークルの認知度も5年未満（36.8%）と20年以上（73.8%）で約37ポイントの差 転入者や居住歴の浅い市民が地域の学習資源にアクセスできていない
9	高齢者の孤立・地域コミュニティの弱体化	<ul style="list-style-type: none"> 居住地域の心配事として「地域内の人と人とのつながりが薄いこと（23.5%）」「高齢者の孤立（22.9%）」が上位に挙がっている 特に二和地域では「つながりの薄さ」を心配する割合が41.0%と突出 心配事を解決するための取組みが、地域のコミュニティにつながっていけるとよい

基本施策 I・IIについて

～ どのような施策を設定するか～

【基本施策Ⅰ】

多様な学習ニーズへの対応と、充実した学習機会の提供

誰もが充実した学習・活動を継続して行うことができるよう、様々なニーズに対応しながら、充実した学習機会の提供と環境整備を行っていきます。

施策1

多様な学習ニーズへの対応

- 1.新たな学習スタイルへの対応
- 2.外国人住民等への学習支援
- 3.困難を抱える子供への学習支援
- 4.再チャレンジする人への学習支援
- 5.高齢期を豊かに生きるための学習支援

施策2

充実した学習機会の提供

- 1.青少年の豊かな心の育成のための取組の推進
- 2.健康維持・増進のための学習機会の提供
- 3.人権尊重・多文化共生のための学習機会の提供
- 4.環境に関する学習機会の提供
- 5.暮らしに関する学習機会の提供

施策3

充実した学習のための環境の整備

- 1.学習に関する情報提供の充実
- 2.学びの成果を可視化する仕組みの構築
- 3.学習相談体制の整備・充実
- 4.生涯学習施設の充実

【基本施策Ⅱ】

「学習と活動の循環」の促進

学びを一過性のものに終わらせず、その成果を活動につなげ、活動を踏まえて更なる学びへとつなげる「学習と活動の循環」を目指し、「人づくり」「つながりづくり」に加え、誰もが学びの成果を活かして活躍できる環境整備を行っていきます。

施策1

地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援

- 1.地域・社会で活躍する人材の育成と支援
- 2.地域・社会で活躍する団体の育成と支援

施策2

「つながり」を育む学習・活動の推進

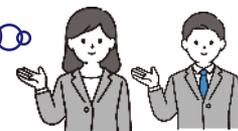
- 1.地域課題に関する取組の推進
- 2.家庭と地域の教育力向上のための取組の推進
- 3.地域における交流機会の創出

施策3

学びの成果を活用するための環境の整備

- 1.活動に関する情報提供の充実
- 2.活動へつなげるコーディネート機能の強化

現行の施策体系を踏まえて、どのような施策を設定するか



【基本施策1-施策1】多様な学習ニーズへの対応



1. 新たな学習スタイルへの対応

対応する取組

- ◆ 時間や場所にとらわれない学習の提供（例：オンライン講座）
- ◆ デジタルデバイス対策の推進（例：スマホ講座、公民館スマホコンシェルジュ）

2. 外国人住民等への学習支援

対応する取組

- ◆ 日本語教育の充実（例：日本語教室（対面・オンライン））
- ◆ 外国人住民等に向けた生涯学習情報の発信（例：やさしい日本語を活用した案内）

「初心者向け」を
継続するか

3. 困難を抱える子供への学習支援

対応する取組

- ◆ 帰国・外国人児童生徒への支援（例：日本語指導員等の派遣）
- ◆ 不登校児童生徒への支援（例：一宮ふれあいキャンプ、適応指導教室「ひまわり」）
- ◆ 学習や体験機会の提供（例：学習支援事業、ひとり親家庭向けデイキャンプ）

4. 再チャレンジする人への学習支援

対応する取組

- ◆ リカレント教育の推進（例：ふなばし市民大学校特別講座）
- ◆ 職業的な自立の支援（例：ふなばし地域若者サポートステーション）

どのような講座が
求められているのか

5. 高齢期を豊かに生きるための学習支援

対応する取組

- ◆ 高齢期を豊かに生きるための学習の推進（例：高齢者学級、高齢者いきいき健康教室）

【基本施策1-施策2】充実した学習機会の提供

1. 青少年の豊かな心の育成のための取組の推進

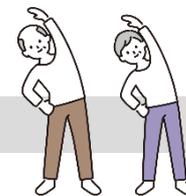
対応する取組

- ◆ 青少年の居場所づくり（例：ふなばしハッピーサタデー、放課後子供教室推進事業）
- ◆ 体験活動の充実（例：ふなっこ未来大学）
- ◆ 子供の読書活動の推進（例：セカンドブック事業）
- ◆ インターネットやSNSによる被害・加害の防止（例：インターネット安全利用講座）

2. 健康維持・増進のための学習機会の提供

対応する取組

- ◆ 健康づくりに関する学習の推進（例：ふなばし健康まつり、介護予防教室）
- ◆ 運動習慣形成のための学習の推進（例：ふなばしシルバーリハビリ体操教室）
- ◆ 食育の推進（例：食育イベント）



3. 人権尊重・多文化共生のための学習機会の提供

対応する取組

- ◆ 人権に関する学習の推進（例：地域人権啓発活動活性化事業）
- ◆ 男女共同参画に関する学習の推進（例：男女共同フェスティバル）
- ◆ 配偶者等からの暴力根絶のための学習の推進（例：予防啓発事業）
- ◆ 性の多様性に関する学習の推進（例：性的少数者への理解に関する啓発事業）
- ◆ 心のバリアフリーのための学習の推進（例：福祉体験講座）
- ◆ 多文化共生のための学習の推進（例：国際ナショナルフェスティバル）

【基本施策1-施策2】充実した学習機会の提供

4. 環境に関する学習機会の提供

対応する取組

- ◆ 環境に関する学習の推進（例：ふなばし環境フェア、ふなばし三番瀬クリーンアップ）
- ◆ 地球温暖化に関する学習の推進（例：地球温暖化に関する学習事業）
- ◆ 自然環境に関する学習の推進（例：ふなばしエコカレッジ、夏休みセミのぬけがら調査）
- ◆ 循環型社会構築のための学習の推進（例：クリーン船橋530の日）
- ◆ 生活環境保全のための学習の推進（例：下水道施設見学の実施）



5. 暮らしに関する学習機会の提供

対応する取組

- ◆ 暮らしに関する学習の推進（例：まちづくり出前講座）
- ◆ 安全に暮らすための学習の推進（例：防犯講座）
- ◆ 消費生活に関する学習の推進（例：消費者講座、生き生き展）

【基本施策1-施策3】充実した学習のための環境の整備

1. 学習に関する情報提供の充実

対応する取組

- ◆ 学習に関する情報の集約と発信方法の充実（例：楽しく学ぼうふなばし）

ニーズに合った
情報発信手段とは

2. 学びの成果を可視化する仕組みの構築

対応する取組

- ◆ 学びの成果を可視化する仕組みの構築（例：学びポイント事業）



3. 学習相談体制の整備・充実

対応する取組

- ◆ 学習相談体制の整備・充実（例：学習相談窓口の設置）

学習相談窓口は
必要か

4. 生涯学習施設の充実

対応する取組

- ◆ 公民館の充実（例：利用率の向上や新しい利用者層の開拓）
- ◆ ふなばし市民大学の充実（例：魅力あるカリキュラムの提供）
- ◆ 図書館の充実（例：図書館サービスの充実）
- ◆ 青少年施設の充実（例：積極的な情報発信、魅力的な事業の企画）
- ◆ 都市公園の充実（例：都市公園の整備）
- ◆ 障害の有無に関わらず学習できる環境の整備（例：生涯学習における合理的配慮）

ニーズに合った
施設の充実とは

【基本施策Ⅱ－施策1】 地域・社会で活躍する人材・団体の育成と支援

1. 地域・社会で活躍する人材の育成と支援

対応する取組

◆ 地域・社会で活躍する人材の育成と支援（例：ふなばし市民大学校における人材育成）

2. 地域・社会で活躍する団体の育成と支援

対応する取組

◆ 地域・社会で活躍する団体の育成と支援（例：社会教育関係団体の結成・存続支援）

団体の減少に
どう対応するか

【基本施策Ⅱ-施策2】 「つながり」を育む学習・活動の推進

1. 地域課題に関する取組の推進

地域課題に対する効果的な取組とは

対応する取組

- ◆ 地域課題に関する学習と活動の推進 (例：地域課題発見・解決事業)
- ◆ 防災学習の推進 (例：防災講座)
- ◆ 健康づくり・介護予防の推進 (例：市民ヘルスマーケティング)
- ◆ 防犯体制整備の支援 (例：防犯パトロール支援事業)

2. 家庭と地域の教育力向上のための取組の推進

対応する取組

- ◆ 家庭教育の支援 (例：就学時健診等における子育て学習、家庭教育セミナー)
- ◆ 地域の子供を地域で守り育てる体制の整備・充実 (例：地域学校協働活動)

3. 地域における交流機会の創出

地域交流のあり方とは

対応する取組

- ◆ 地域における交流機会の創出 (例：公民館文化祭・福祉まつり・こどもまつり)

【基本施策Ⅱ－施策3】 学びの成果を活用するための環境の整備

1. 活動に関する情報提供の充実

対応する取組

◆ 活動に関する情報の収集と発信（例：ふなばし市民力発見サイト）

2. 活動へつなげるコーディネート機能の強化

対応する取組

◆ 活動へつなげるコーディネート機能の強化（例：生涯学習サポート事業）

団体・人材の
効果的な
コーディネート
方法はあるか

リーディングプロジェクトについて

～ 今後の取り扱いをどうするか～

ふなばしー番星プランでは、リーディングプロジェクトを設け、予測される今後の社会の状況や市の現状等を踏まえ、計画期間の5年間で、先導的に取り組む必要があると考える内容を明確化しています。

1

人生100年 時代への対応

- ・ 高齢期を豊かに生きるための学習を推進
(以下、略)

2

デジタル化 社会への対応

- ・ インターネットを利用した学習の提供を行い、より高い学習効果を得るための実施方法を検討し、提供
(以下、略)

3

「共生社会」 実現のための 取組の充実

- ・ 生涯学習の観点から、様々な人々の能力が発揮されるインクルーシブ（包摂的）な地域・社会の実現に向けた取組を実施
(以下、略)

4

学びを広げる 情報の充実

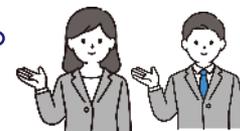
- ・ 生涯学習事業の情報を積極的に収集し、発信
(以下、略)

5

地域の拠点 「公民館」 の充実

- ・ 利用基準の見直しや夜間の事業の実施
(以下、略)

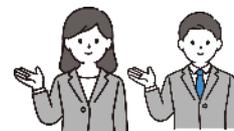
当初の想定は、最初の5年間で
上記リーディングプロジェクトは終了



今後の取り扱い

- リーディングプロジェクトについては、計画期間の5年間で、先導的に取り組む必要がある内容として位置付けていたが、令和8年度末で期間が終了するため、見直す必要がある。
- 終了するもの、継続する必要があるもの、新しく追加するもの、どのような取り組みにするか。

ご意見
よろしく願いたします。



令和7年度公民館文化祭 参加者数

資料2

公民館名	開催月日	延べ参加人数	
中央公民館	11月1日(土)	1,862人	計 3,716人
	11月2日(日)	1,854人	
浜町公民館	10月4日(土)	1,719人	計 3,649人
	10月5日(日)	1,930人	
宮本公民館	10月25日(土)	2,419人	計 5,182人
	10月26日(日)	2,763人	
海神公民館	10月18日(土)	2,104人	計 4,057人
	10月19日(日)	1,953人	
東部公民館	11月8日(土)	2,213人	計 4,328人
	11月9日(日)	2,115人	
三田公民館	10月25日(土)	898人	計 2,351人
	10月26日(日)	1,453人	
習志野台公民館	改修工事による 休館のため 実施なし		計 0人
飯山満公民館	11月15日(土)	1,845人	計 2,659人
	11月16日(日)	814人	
薬円台公民館	10月11日(土)	1,428人	計 3,472人
	10月12日(日)	2,044人	
西部公民館	10月4日(土)	823人	計 1,804人
	10月5日(日)	981人	
法典公民館	10月18日(土)	1,254人	計 2,516人
	10月19日(日)	1,262人	
丸山公民館	10月18日(土)	786人	計 2,272人
	10月19日(日)	1,486人	
塚田公民館	改修工事による 休館のため 実施なし		計 0人
葛飾公民館	10月11日(土)	1,546人	計 2,884人
	10月12日(日)	1,338人	

公民館名	開催月日	延べ参加人数	
北部公民館	11月1日(土)	742人	計 1,339人
	11月2日(日)	597人	
二和公民館	10月4日(土)	570人	計 1,870人
	10月5日(日)	1,300人	
海老が作公民館	10月18日(土)	1,208人	計 2,157人
	10月19日(日)	949人	
小室公民館	11月1日(土)	670人	計 1,677人
	11月2日(日)	1,007人	
八木が谷公民館	10月25日(土)	848人	計 907人
	10月26日(日)	59人人	
三咲公民館	10月11日(土)	536人	計 1,472人
	10月12日(日)	936人	
松が丘公民館	11月22日(土)	1,982人	計 3,451人
	11月23日(日)	1,469人	
坪井公民館	11月15日(土)	924人	計 2,600人
	11月16日(日)	1,676人	
高根台公民館	10月18日(土)	2,153人	計 3,439人
	10月19日(日)	1,286人	
夏見公民館	10月24日(金)	36人	計 1,213人
	10月25日(土)	531人	
	10月26日(日)	646人	
高根公民館	10月11日(土)	448人	計 1,060人
	10月12日(日)	612人	
新高根公民館	11月8日(土)	570人	計 1,015人
	11月9日(日)	445人	
		計	58,818人

連携先	連携内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども食堂 ・ 社会福祉協議会 ・ 社会教育関係団体 (スポーツ推進委員、青少年相談員連絡協議会等) ・ 小学校、中学校、高等学校 (部活動) ・ 障害者施設 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬店 ・ 発表 (演劇、演奏、合唱等) ・ 展示 ・ 実行委員会としての運営 等

公民館事業発信方法

	媒体	内容
1	チラシ（紙） ・公民館内 ・管区内小学校、中学校	・公民館内にチラシ配架 ・管区内小学校、中学校にチラシ配布 （主にハッピーサタデー事業）
2	公民館 HP	各館 HP に事業一覧、募集状況掲載
3	広報ふなばし	毎月 1 日号に掲載
4	公民館報（各公民館）	年 2～4 回程度発行 地域新聞等に折込み
5	児童ホーム館報	管区内小学校に配布 （子ども向け事業）
6	学校だより	学校に依頼をし掲載（子ども向け事業・ 保護者向け事業）
7	保護者宛て情報発信メール	学校に依頼をし発信（子ども向け事業・ 保護者向け事業）
8	公民館公式 Facebook （フォロワー数：600）	事業募集、事業報告を掲載
9	船橋市公式 X （フォロワー数：3.5 万人）	事業募集を掲載
10	ちいき新聞	自館から依頼、もしくは新聞社から掲載依 頼があり掲載

【公民館事業チラシ】

令和7年度船橋市東部公民館主催事業

～自宅にいながりフレッシュ～
オンラインで
リラックスヨガ

初心者の方大歓迎！
自分のことが二の次になりやすい、せわしない年末年始に、
ゆったり動いて心地良くケアしましょう。
お正月太り解消にもなりますので、
気になる方はぜひご参加ください。

参加費 無料

日にち 12/26、1/9、1/16、1/23、1/30 (各金) 計5回
時間 19:00～20:00
定員 20名(先着) 対象 18歳以上
テーマ ～心地良い状態になる～
腰、股関節のセルフケア+ヨガでぽっこりお腹や
出っ尻を解消しよう！
その他 ヨガマット、ヨガブロックをご用意ください。
※ヨガブロックがない方はクッション、座布団をご用意ください。
通信費は参加者負担となります。
動きやすい服装でご参加ください。

12/2受付開始 詳細・お申込みはこちら

東部公民館 047-477-7171 (9時-17時)
船橋市前原西2-21-21 k-tobu@city.funabashi.lg.jp

▲夜の時間帯、自宅で参加出来るオンラインヨガ事業

令和7年度三田公民館主催事業

子どもまつり

日時: 令和7年2月21日(土) 午前9時30分～午後1時
場所: 船橋市三田公民館 ※うらの地盤をみてね

<スキャンタブルの体験> 対象: 子どものみ
①三田公民館の集客でスタンプカードをもらって参加費を減らす。
②集めたスタンプを交換してオリジナルのグッズをもらう。
③スタンプを集めてもらえる場所(このマークが印してあります)。
④スタンプは3つ集めると、「くじ引き」が出来るよ！

<体験レクリエーション> 対象: 小学生以上
●とろろろろろ (CA: 100円) 料: 200円
●おもしろいロボット (100円)
●おもしろいロボット (100円)
●おもしろいロボット (100円)
●おもしろいロボット (100円)

<おもしろいゲーム> 対象: 小学生以上
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)

<おもしろいゲーム> 対象: 小学生以上
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)

<おもしろいゲーム> 対象: 小学生以上
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)
●おもしろいゲーム (100円)

▲色々な団体が協力してくれている、子どもまつり事業

▼高齢者向けのデジタルデバインド対策事業

令和7年度 飯山満公民館主催事業

触っておぼえる！
スマホ
の基本と
キャッシュレス

令和8年 **3月18日(水) 午前10時～12時**

スマートフォンを使い始めの方やキャッシュレス決済に興味のある方におすすめの講座です。レジでのお札を出してしまったり、お財布が小銭だらけになってしまった経験はありませんか？キャッシュレス決済なら、小銭を数えたりお財布から出すストレスから解放されます。ぜひこの機会にご参加ください。

参加費 無料

会場 飯山満公民館 第2・3集会室
対象 18歳以上の方
定員 20名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます
持ち物 筆記用具、飲み物
講師 ソフトバンク(株) スマホアドバイザー

こちらはスマートフォンの貸出機を使用する講座です

お申し込み
令和8年3月2日(月)午前10時から、飯山満公民館窓口または電話でお申し込みください。

飯山満公民館 047-424-4311 (受付時間 午前9時～午後5時)

令和7年度西部公民館ハッピーサタデー事業

おばけやしき

にちじ
日時: 9月21日(日)
受付時間 10:30～12:00

受付時間内に受付をしてください。受付前に入室していただきます。空席の混み方により、お待ちいただく場合があります。

会場: 西部公民館 2階 第1・2集会室
参加費: 無料
持ち物: 飲み物
演出: 青少年相談員連絡協議会西部ブロック本中山地区 小栗原小学校 PTA 父親委員会
対象: 原則市内の小学生 (定員なし)

申込み: 右下二次元バーコードを読み取り、オンライン申請をお願いします。※申込完了時に「申込完了」メールが届きます。申込完了メールが届かない場合は西部公民館までお電話下さい。
申込期限: 9月18日(木) 23:59まで

お問い合わせ: 船橋市西部公民館 TEL.047-333-5415 (9～17時)

▲青少年向け ハッピーサタデー事業

「生涯学習に関するアンケート」調査票

Q11.あなたが利用したことがある生涯学習施設はどれですか。(〇はいくつでも)

令和7年度版

児童ホーム数：21か所
子育て支援センター数：2か所

1	公民館
2	図書館
3	博物館 (郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館)
4	プラネタリウム館
5	文化芸術ホール (市民文化ホール・市民文化創造館 (きららホール))
6	市民ギヤラリー・茶華道センター
7	体育施設 (総合体育館 (船橋アリーナ)・運動公園 (グラスポ) など)
8	ふなばし三番瀬環境学習館
9	ふなばしアンデルセン公園
10	子育て支援センター・児童ホーム
11	青少年施設 (青少年会館・一宮少年自然の家・大神保青少年キャンプ場)
12	老人福祉センター
13	その他 (具体的に：)
14	生涯学習施設を利用したことがない

令和元年度版

1	公民館
2	図書館
3	博物館 (郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館)
4	視聴覚センター・プラネタリウム
5	文化芸術ホール (市民文化ホール・市民文化創造館 (きららホール))
6	市民ギヤラリー・茶華道センター
7	体育施設 (総合体育館・運動公園・法典公園など)
8	ふなばし三番瀬環境学習館
9	ふなばしアンデルセン公園
10	子育て支援センター
11	青少年施設 (青少年会館・一宮少年自然の家・大神保青少年キャンプ場)
12	老人福祉センター
13	その他 (具体的に)
14	生涯学習施設を利用したことがない

【子育て支援センター・児童ホーム】

回答割合：15.8%

【子育て支援センター】

回答割合：8.3%

- アンケート調査票を作成する際、関係各課に内容について意見を伺い、「児童ホーム」を追加してほしいとの意見があり、令和7年度アンケート調査票より項目を追加しました。
- 市内には児童ホームが21か所あり、児童ホーム利用者の選択肢が明確化されたことにより、回答割合も上がったと考えられる。